

前田麦個展「SIGNS」開催決定！

「Eye of Fire」の新作「SIGNS」が札幌PARCO全館をジャック。

オリジナルグッズの販売やトークショー、
展覧会会場と一緒に巡るギャラリートourも開催



札幌PARCO（札幌市中央区南1条西3-3）は、2026年10月9日(金)～11月8日(日)の期間、7F PARCO FACTORYにて、前田麦個展「SIGNS」を開催いたします。

前田麦の人気作品「Eye of Fire (EOF)」。新作「SIGNS」シリーズを中心に、道路標識や案内にまぎれ込んだEOFが、ギャラリー空間を飛び越えて札幌PARCO中に登場します。日常的に目にするさまざまなサインから、ちょっと意外な案内まで、EOFが縦横無尽に「注意喚起」をしてくれます。あなたには、どんなサインが必要ですか？ ぜひ、探しながらご覧ください。ステッカーや限定ラベルのビールなどオリジナルグッズの販売や、トークショー、展覧会会場と一緒に巡るギャラリートourも開催します。

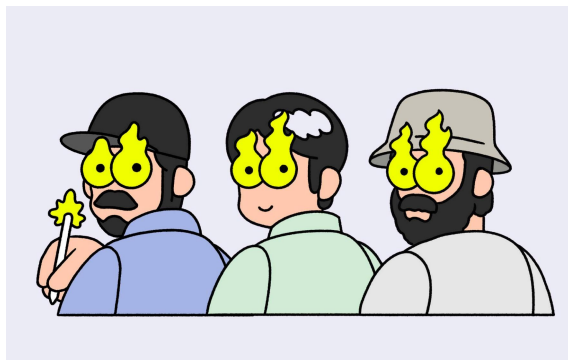


● 内覧会&トークショー開催

「SIGNS」に込めた思いや制作の背景、準備期間のエピソードなどお届けします。展示だけでは伝えきれないエピソードを知ることで、「SIGNS」の世界をより深く味わっていただける特別な機会です。内覧会は招待制となりますが、トークショーは一般のお客様にもご参加いただけます。

日 時：10月8日(木) トークショー：18:00～19:00 (予定)

※お申込み方法などの詳細は後日札幌PARCOホームページにてご案内いたします。



● ギャラリーツアー

前田麦本人が展示空間をご案内するギャラリーツアー。作品を巡りながら、「なぜこの形になったのか」「どんな発想から生まれたのか」を作者自身の言葉で解説します。スケッチや素材選び、試行錯誤の過程など、作品だけでは伝わらない制作のプロセスに触れられるのも、このツアーならではの魅力です。

※日時、お申込み方法などの詳細は後日札幌PARCOホームページにてご案内いたします。

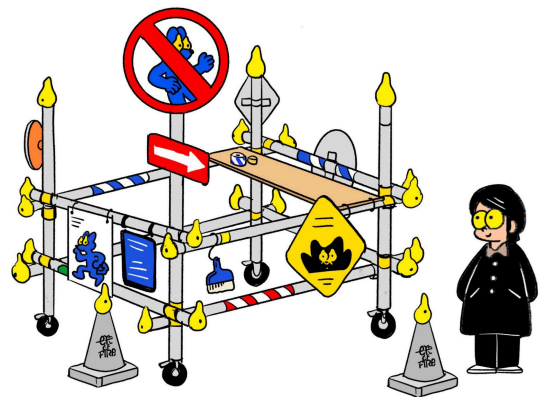
● SIGNS

毎日のように街なかで見かける道路標識。よく観察すると、さまざまな色や形でシンプルに構成されており、長い歴史のなかで洗練されてきたデザインであると気づきます。これらの標識を、前田はEye of Fireで表現しました。標識やサインという合理的な記号性と、悪魔のキャラクターという非合理性が融合することで、作品としての新しいグラフィック表現が生まれています。



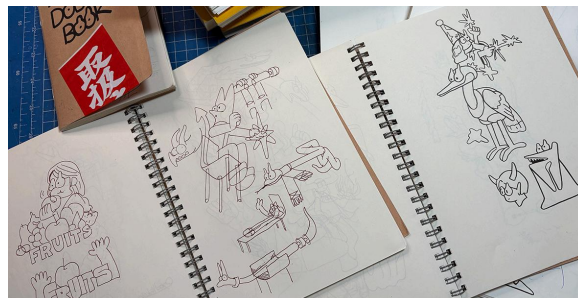
● MAIN STRUCTURE

SIGNSシリーズと単管で構成された、インスタレーション作品です。主に工事現場で用いられる単管と、道路標識という見慣れた組み合わせにより、ひとつの構造物として自然に成り立っています。



● LIBRARY

普段、前田がアイデア等をまとめる際に使用してきたスケッチ集です。事務所の机周りに常に置いてあるもので、かなりの冊数がたまりました。全てのアイデアがスケッチから始まる前田にとって、整理されていない荒い線は、脳から腕に直接つながるような、最も純粋な表現のかたちかもしれません。よろしければ、そっとめくってご覧ください。



● ARCHIVE

前田は広告や雑誌、CMなど幅広い領域で、ずっと札幌を拠点に活動してきました。ここではEye of Fireが誕生した2020年頃からの仕事の成果物や、個人的に作成したグッズをまとめています。クラフトビールの缶や、Tシャツ、ワインエチケット、スケートボード、ガシャポン、ソフトビニールフィギュア、グラス、カップ、ステッカー、キーホルダーに至るまで、アウトプットは多岐に渡ります。

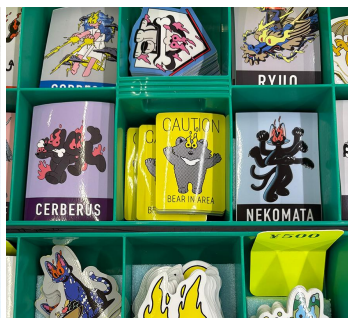


● GOODS

Eye of Fireのオリジナルグッズや、本展覧会に向けて作られた限定グッズなどを多数販売します。



Eye of Fire バンダナ



ステッカー



フリスビー、キーホルダーなど



前田麦が考案した商品陳列システム
CASE BY CASE

● MADE TO ORDER

展示作品の一部を受注生産で販売いたします。



前田麦

札幌を拠点に、広告や映像、プロダクトなど、平面から立体まで幅広く活動するイラストレーター。2020年に青い悪魔「Eye of Fire」を生み出し、企業とのコラボレーションなどを通して世界を広げている。

Eye of Fire

「Eye of Fire（EOF）」は、魔界から地上にやってきた、燃える目玉をもつ青い悪魔。最近、人間社会にまぎれて生活しています。ワルいやつではありませんが、ちょっとイタズラは好き。今回は7FのPARCO FACTORYの展示を中心に、館内のあちこちのサインに潜んで、札幌PARCOをジャックしています。イラストレーションを軸に、平面から立体まで幅広い表現活動をする前田 麦。EOFは前田が幼少期より好きだった「神話」や「RPG」の怪物をモチーフにしながら、コロナ禍である2020年に生まれました。燃える目のアイディアは、スポ根漫画の闘志の現れの表現から着想を得たものです。誕生から6年あまり経ち、EOFはほかの怪物や生き物などの姿にときおり変化しながら、パッケージや広告にも登場し、その世界を広げています。

《開催概要》

Eye of Fire「SIGNS」

- 会場：札幌PARCO 7F・PARCO FACTORY (札幌市中央区南1条西3-3)
- 会期：2026年10月9日(金)～11月8日(日) 10:00～20:00
 - ※入場は閉場の30分前まで
 - ※最終日は18:00閉場
- 入場料：500円
- 特設サイト：<https://sapporo.parco.jp/page/signs/>